

表1. 2018/2019シーズン 抗インフルエンザ薬耐性株検出情報

最終更新日: 2019/01/28

	A(H1N1)pdm09						A(H3N2)						B				
	エンドヌクレアーゼ阻害薬		ノイラミニダーゼ阻害薬				エンドヌクレアーゼ阻害薬		ノイラミニダーゼ阻害薬				エンドヌクレアーゼ阻害薬		ノイラミニダーゼ阻害薬		
	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル	アマンタジン	パロキサビル	オセルタミビル	ペラミビル	ザナミビル	ラニナミビル
耐性株数 (%)	0	1 (0.3%)	1 (0.3%)	0	0	36 (100%)	2 (9.5%)	0	0	0	0	21 (100%)	0	0	0	0	0
解析株数	51	333	333	89	89	36	21	35	35	35	35	21	1	6	6	6	6
分離・検出報告数	757						426						19				

エンドヌクレアーゼ阻害薬はFocus reduction assayおよびPA遺伝子シーケンス法により解析された。すべての耐性変異株は、I38T耐性変異をもっていた。

ノイラミニダーゼ阻害薬はMUNANA基質を用いる蛍光法、NA-XTD基質を用いる化学発光法、real time RT-PCR allelic discrimination法およびNA遺伝子シーケンス法により解析された。

M2阻害薬はM2遺伝子シーケンス法により解析された。すべての耐性変異株は、S31N耐性変異をもっていた。